

東京外かく環状道路(関越道～東名高速間)  
沿線区市長意見交換会(第8回)開催結果について  
— 記者発表資料 —

東京外かく環状道路(関越道～東名高速間、以下「外環」という)について、東京都庁で1月30日に、沿線区市長意見交換会(第8回)を開催しました。

会議では、国土交通省と東京都から外環に関する最近の状況等について報告した後、沿線区市長から、環境対策や地域のまちづくりなど様々な意見や要望が出され、国と都は「地域の課題について、地域ごとのPIを実施するなど地域住民の皆様のご意見を十分に聴きながら、対応の方針を今年夏を目標にまとめるとともに、課題解決に必要な調査等を実施していく」としました。

会議の概要については別紙のとおりです。

※出席者

志村練馬区長、山田杉並区長(代理 松沼副区长)、邑上武蔵野市長、  
清原三鷹市長、長友調布市長、矢野狛江市長、熊本世田谷区長  
北橋関東地方整備局長、只腰東京都都市整備局長 他

平成20年 1月30日

国土交通省関東地方整備局  
東京都都市整備局

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 横浜海事記者クラブ  
神奈川建設記者クラブ 都庁記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局道路部計画調整課 課長 すずき 鈴木 みちひと 通仁  
電話：[代表] 048-600-1343 (内線 4311)

東京都都市整備局基盤部外かく環状道路担当課長 やました 山下 ゆきとし 幸俊  
電話：[直通] 03-5388-3326 (都庁内線 30-470)

## 第8回 区市長意見交換会の概要（速報）

### ○国土交通省・東京都からの報告

- ・昨年12月の第3回国土開発幹線自動車道建設会議を経て、建設線の区間、主たる経過地など、東京外かく環状道路(関越道～東名高速間)に係る基本計画が決定した。

### ○各区市長の意見の概要

- ・外環は必要な道路であり、早期完成を要望する。
- ・都市計画変更の際して提出した意見について真摯に対応すること。
- ・地域の課題解決に向けたPIにおいて、今後地域から示される提案については、計画づくりに反映し、市民と協働により進めること。
- ・不安を抱えている住民との合意形成に向けて真摯な努力をすること。
- ・地震などの災害や事故発生時の安全性について十分な検討を行うこと。
- ・インターチェンジ周辺の具体的な交通対策、環境対策やまちづくり対策について具体性に乏しいので地域の意見を聴きながら、より具体的な検討を行うこと。
- ・アクセス道路などに対する支援策について新たなスキームを含めた検討を行うこと。
- ・八の釜の湧き水について、専門家を含めた十分な調査研究を行い、地域の意見を反映した対応策とすること。
- ・地下水の影響等、地元の懸念に関する具体的な調査内容を明らかにするとともに、ボーリング調査などについて早期に対応すること。
- ・換気所は、処理技術の高度化を図るとともに、地域に有効な安全・安心施設となるよう工夫すること。
- ・中央ジャンクション付近のいわゆる三日月地域など地域コミュニティの分断を最小限に留めること。
- ・ジャンクション部の立体的かつ有効な活用による創造的なまちづくりを進めること。
- ・東名高速道路以南についても、具体的な検討を進め確実に整備を進めること。
- ・外環ノ2については、計画の方向性、検討のプロセスを早急に明らかにし、積極的な議論を行った上、地元の意見をよく聴いて早期に結論を出してほしい。
- ・外環ノ2の検討に際しては、地域との対話を重視し、必要性の有無から議論することが必要。
- ・生活再建救済制度について引き続き地権者の要望に適切に対応すること。
- ・外環とともに、都市高速10号線についても計画の具体化に向けた検討を進めて欲しい。
- ・道路特定財源は、外環や生活道路整備に必要であるだけでなく、連続立体交差事業やまちづくり交付金としても活用されており、財源を堅持するよう要望する。

### ○国土交通省・東京都からのコメント

- ・頂いたご意見の課題の解決に向けて、関係区市と合同で地域ごとのPIを実施するなど地域住民の皆様のご意見を十分に聴きながら、地域の課題に対する対応の方針を今年夏を目標にまとめていきたい。
- ・地域の課題解決の詳細な検討に向けて、地質調査、井戸調査や測量など詳細な調査について、関係区市と調整の上実施していく。
- ・外環地上部街路についても、必要性や整備のあり方等を早期に地元を示し、広く意見を聴いた上で、都としての方針をとりまとめていく。